

臨床研修レポート

このページを見ている人は来年のマッチングはどうしようかと考えてる人が多いと思います。

私もこのページをみて研修先をどうしようかと考えていたので、今回このレポートでは研修医としてマッチング先を考えている6年生に向けて書きたいと思います。

まず南外山堀井歯科についてです

愛知県の小牧市にあります。私は県外から来たのでどんなところかもわかりませんでした。名古屋に近くに空港や高速道路もあるので交通にとっても便利です。

堀井歯科は駅から徒歩10分程度のところにあるので県外から面接にくるときとても便利でした。

医院についてですが、堀井歯科は個人医院としては8台というたくさんのチェアー、そして多くのスタッフがいます。

朝は9:30から始まり7:00定刻に終わります。

スタッフルームもあり快適な職場です。

診療内容は一般歯科、矯正歯科、口腔外科、小児しかとさまざまな診療をしていて自費診療も多いです。

次は研修医は何をするかです

私は一般診療のほとんどをしました。

麻酔、形成、義歯、歯周病治療、カルテ入力、大学病院で研修するより確実に多くの処置をしたとおもいます。

研修医の特権として矯正を1年みっちり勉強できます。

月3回の専門医がくる矯正日はすべて研修医が責任をもって動かします。

器具の準備や患者さんの誘導、また予約をとったり矯正の患者さんへハガキを送ったりします。

1年間を通して見学や介助をすると矯正器具の調整の仕方やマルチブラケット装置の交換の仕方、たくさんの知識がえられます。

またマルチブラケット装置で本当に叢生が治っていく様子やこの場合はどの矯正器具が適応症なのかがわかるようになってとてもいい経験だったとおもいました。

また診療についてですが

みなさんが臨床にたつとそれぞれ興味を持つ分野は変わるとは思いますが、私がこの1年一番興味をもったのは歯周病でした。

なぜ歯周病に興味を持ったかという、口腔内にプラークや歯石がたくさんついている患者さんへスケーリングなどを行うことによって口腔内がとてもきれいになって気持ちがよかったからです。

特に口腔内が汚れている患者さんや出血が多い患者さんのスケーリングをしているときは、もっと口腔内の状態が良くなってほしいとおもい、ブラッシング指導をしたり、補助的清掃器具の説明をします。

一ヶ月後の状態を再び確認して患者さんが頑張っただけでブラッシングしている成果がでるととても嬉しくなります。

また特に歯周病が進行している患者さんにはSRPをするのですが、SRPをしていくうちに歯肉の状態が良くなったり、歯周病が改善するのがうれしいです。

また義歯制作も興味をもった分野の一つでした。

いままで義歯については特に興味はなかったのですが、一度院長が作った義歯を割って壊したとき「義歯をつくるのは難しいんだよ」と怒られそれから興味を持ちました。

義歯の製作過程は概形印象、本印象、咬合採得、試適、たくさんの工程がありますがすべてがうまくできなければいい義歯はできないそうです。

印象ひとつとっても義歯に必要な解剖を理解していないと出したい筋は出ないし咬合採得もとても難しいです。

ポリクリで一度筋形成はやらしてもらったことがあるのですが、やはり実際自分が歯科医師としてその患者さんの義歯をつくるとなると責任重大で私はいまでも義歯のための印象のときは緊張して心臓がドキドキします。

最後に介助について書きたいと思います。

研修医は始めは歯科医師の診療の介助に尽きます。

一見歯科医師としては無縁なこの仕事が実は大きなポイントだとおもいました。

最初は気づかないと思いますが歯科医師が介助につけるのは研修医のときだけです

研修が終わって歯科医師になってしまったら介助にはつきません、診療をするのがメインです。

これはどういうことかという、どんなにいい先生のよい診療も実際に見れるのは介助についているこの1年間です

たとえば乳歯の抜歯について説明します

私がここにきて一番初めに行ったのは乳歯の抜歯です。浸潤麻酔をして乳歯を抜くというものでした。

何もわからない状態だったのですごく緊張してしまってあまりうまく抜けませんでした。
麻酔も効かないし、なかなか乳歯も抜けない。今思うとひどいものでした。

それから介助で他の先生の乳歯の抜歯にあたりました

その先生はちょっとした動作で簡単に乳歯を抜いていました。

そして私がまた乳歯の抜歯を行ったときそのとおりにしたら簡単にぬけたので、介助というのとはただ見るのだけではなく技を盗む機会でもあるんだなと思いました。

どんな講習会よりも役に立つんじゃないかとおもいます。

今のどうやったんだろう？ どうしてあんなに早く治療ができるんだろう？そこに疑問をもち直接質問できるのはその場に立ち会っている介助した人だけです

この1年思う存分技を盗んでください。

また介助というのは歯科医師としてたくさん勉強になります。

今は研修ですが来年からは歯科医師として働きます

歯科医師として働くと当然スタッフに何かをお願いしたりして工作中一番スタッフと多く接していると思います。

私はスタッフとの良好な関係が仕事をうまくまわすコツだと思うのでスタッフへの気遣いはとても大切だと思います。

そのためこの1年介助を経験してるからこそ、こんなときスタッフにどんな風に伝えたらいいかや、こんな風にいわれたら傷つくなど1年を通して別の方向から歯科診療がみえます

もしこの経験がなかったら私はもしかしたら傲慢になっていたかも知れません

歯科助手さんが手伝ってくれているから自分もうまく診療が回せているんだなと思います。
ある衛生士さんが「スタッフの気持ちがわかるのは研修医のうちだけだよ。」とっていました。

まったくそのとおりでなとおもいました。

最後に自分のことについて書こうと思います

6年生のときにマッチングでどこの研修先にしようか真剣に考える時期がありました。

研修先を選んでる時に自分と向き合い自分の将来と本当にやりたいことを真剣に考えたときここが目に入りました。

私は将来一般診療が一通りできるようになりたい。また小児歯科に興味があったので小児の患者さんも多いところがいいなとおもいこの堀井歯科を選びました。

緊張しながら面接をして内定、春から就職して1年間大変でしたがとても楽しかったです
ときには辛いこともあったけれど、その経験もいつか役にたつと思うくらいよい経験ばかり
でした。

また臨床にふれるのが毎日楽しみでした。

もし堀井歯科に興味を持ったかたは是非見学に来てみてください。